



# けいあい

第 20 号

平成 21 年 1 月 8 日  
甲斐市立 敷島中学校  
発行責任者 長田和人

## 新しい年にさらなる飛翔を！

「新年明けましておめでとうございます。」

例年になく“穏やかな日”が続いた年末年始でしたが、生徒たちは、新しい希望を胸に楽しい冬休み？を過ごしたことと思います。さて、冬休みが終わった今日、生徒たちは全員元気よく登校してきました。

始業式では、各学年代表の生徒が「新たな決意」をしっかりと発表しました。全ての生徒たちにとって、それぞれの思いを新たに、3学期のスタートがうまくきれるように支援していきたいと考えています。



「一日の計は朝にあり。」「一年の計は元旦にあり。」「一生の計は少壮の時（若く元気な時）にあり。」…と言われますように、失敗を恐れずにできることが若さの特権です。大きな理想を持ち、小さな目標を一つずつ達成して行ってほしいと思います。

3学期は、他の学期に比べて短い学期ではありますが、学年のまとめとしてとても大切な学期です。一日一日を大切に、しっかりと一年のまとめをしていかなければならないのです。

さて、もう少しすると、「冬」という季節からぬけだし、“甲斐の里”にも「春」がやって来ます。「春」という季節は、万物が生き生きと地上によみがえり、自然を彩り始める時です。冬枯れの寂しさから一転し、正に「陽の気」に転じていきます。生きとし生けるもの、生命力のあるものはこの時とばかりに活動を始めるのです。人間の世界も同じです。万物移り変わりの中、一時でも早く、この「春」取り入れようとします。正に、「生きていく」ということの“証”なのです。

自然は、生命を大切にします。それに、秩序を大切にします。相手の生命力を損なったり、順序を間違えることなど決してありません。全く不思議な知恵といえます。これを自然の摂理といいます。私たち人間は、この自然界の摂理をしっかりと受け止めて、新しい希望にあふれた年としなくてははいけないと思います。

◎ 本校努力目標です。連携を図り、一緒に良い学校を創っていきましょう！

## 「魅力のある、信頼される敷島中学校に！」

行って良かった	……	生徒
行かせて良かった	……	保護者
会って良かった	……	地域の方々
勤めて良かった	……	教職員



今年の干支は「牛」！

高村光太郎詩集より

牛はのろのろと歩く一牛は野でも山でも道でも川でも一自分の行きたいところへは一まっすぐに行く一牛はただでは飛ばない。ただでは踊らない。一がちり、がちりと一牛は砂をはねとばし一牛はやっばりのろのろと歩く一牛は急ぐことをしない一牛は力いっぱい地面を頼っていく一自分を載せている地面の力を信じきっていく一ひと足、ひと足、牛は自分の道を味わっていく一ふみ出す足は必然だ一うわの空のことではない一是でも非でも一出さないではたまらない足を出す一牛だ一出したが最後一牛は後へはかえらない一足が地面へめりこんでもかえらない一そして牛はやっばりのろのろと歩く。（以下略）

これからの人生を信念を持って、牛歩の如く  
たゆまず、力強く、前進を続けていきましょう！！

生徒たちにとっても、保護者の皆さんにとっても、  
大きく飛翔する素晴らしい年になることを御祈念いたします。

今年もよろしくお願ひいたします。！ 敷島中学校教職員一同

